

第1回 タイトル：結核		評価：A・B・C・D
受講者番号：●●●●●	氏名：日女 花子	所属県名：東京都
住所：〒130-0012 東京都墨田区太平×丁目× - ×		

1. テーマ	結核は過去の病気か？
2. サブタイトル	

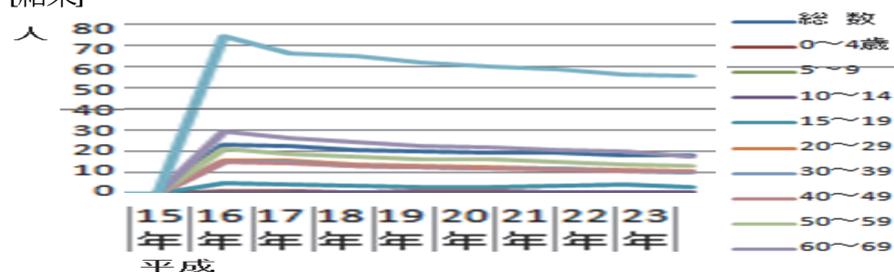
[目的]

最近、免疫力の低下している高齢者ばかりではなく、結核の罹患率が増加していると言われている。罹患率の推移を調査した。

[調査方法]

資料1を検索し、情報を収集した。

[結果]



増加傾向にはないが、特に何歳台から何歳台も減少はしていないことが判明した。

[考察]

結核はツベルクリンやBCGなどによる早期発見および抗生剤の開発により、過去の疾病と考えていた。しかし最近又増加はしていないが、若年層にも多いということは、予防接種がされていないことも関係しているかと推測される。高齢者が多い要因の一つには、過去に発病し、休止菌のまま免疫力が低下した年代に再発症したことが挙げられる。

結核菌は常在菌であり、単なる風邪の思いがちなものである。又、結核菌であっても抗酸性菌によるMACの可能もある。2週間以上続く「咳」、「痰」等の初期症状がある中高齢者には病院への勧奨をすべきであると考えている。

[参考資料]

1.公益財団法人結核予防会結核研究所 疫学センター：資料編

<http://www.jata.or.jp/>

受付日	年	月	日	受付番号：
評価担当者				記録：